

広島大学 病院輸血部 2013 年業績

1) 論文 (査読あり)

- 1) Nishijima T, Takano M, Ishisaka M, Komatsu H, Gatanaga H, Kikuchi Y, Endo T, Horiba M, Kaneda S, Uchiumi H, Koibuchi T, Naito T, Yoshida M, Tachikawa N, Ueda M, Yokomaku Y, Fujii T, Higasa S, Takada K, Yamamoto M, Matsushita S, Tateyama M, Tanabe Y, Mitsuya H, Oka S. Abacavir/lamivudine versus tenofovir/emtricitabine with atazanavir/ritonavir for treatment-naive Japanese patients with HIV-1 infection: a randomized multicenter trial. *Inter Med* 52(7):735-744, 2013.
- 2) Takeshi Nishijima, Hiroyuki Gatanaga, Takuro Shimbo, Hirokazu Komatsu, Tomoyuki Endo, Masahide Horiba, Michiko Koga, Toshio Naito, Ichiro Itoda, Masanori Tei, Teruhisa Fujii, Kiyonori Takada, Masahiro Yamamoto, Toshikazu Miyakawa, Yoshinari Tanabe, Hiroaki Mitsuya, Shinichi Oka. Switching Tenofovir/Emtricitabine plus Lopinavir/r to Raltegravir plus Darunavir/r in Patients with Suppressed Viral Load Did Not Result in Improvement of Renal Function but Could Sustain Viral Suppression: A Randomized Multicenter Trial. *PLoS One* 8(8):1-10, 2013.
- 3) Shirahata A, Fukutake K, Takamatsu J, Shima M, Hanabusa H, Mugishima H, Amano K, Takedani H, Tamashima S, Matsushita T, Tawa A, Tanaka I, Higasa S, Kosaka Y, Fujii T, Sakai M, Migita M, Kawakami K, Ohashi Y, Saito H. *Haemophilia* 19(6):853-860, 2013.
- 4) 白幡聡, 桑光弘, 福武勝幸, 日笠聡, 酒井道生, 嶋緑倫, 藤井輝久, 堀越泰雄, 滝正志, 花房秀次, 吉岡章. インヒビター保有先天性血友病患者の出血エピソードにおける遺伝子組み換え活性型第Ⅶ因子製剤の有効性及び長期的安全性: 10年間の市販後調査解析報告. *血栓止血誌*. 24(6): 593-602, 2013.

2) 学会発表

- 1) 藤井輝久、河野真由、河野富士子、廣瀬祥子、栗田絵美、小松真由美、山岡愛子、齋藤誠司、平岡朝子、大崎千津子. 広島大学病院における輸血部搬出後の製剤未使用の理由の解析. 第61回日本輸血・細胞治療学会. 2013年5月. 横浜
- 2) 藤井輝久. HIV 陽性…そのとき、あなたは どうしますか～HIV チーム医療の現状とこれからの課題～. 第62回日本医学検査学会総会(シンポジウム). 2013年5月. 高松
- 3) 藤井輝久、齋藤誠司、新田英昭. 後天性血友病 A の免疫療法中に純赤芽球瘍を発症した一例. 第35回日本血栓止血学会学術集会. 2013年5月. 山形
- 4) T.Fujii, T.Fujii, S.Saito. The relationship with weather and joint bleedings in haemophilic patients. XXIV Congress of the International

Society on Thrombosis and Haemostasis. June of 2013. Amsterdam.

- 5) 齋藤誠司, 藤井輝久, 一戸辰夫. 自己免疫性溶血性貧血に対してリツキシマブによるサルベージ療法を行った特発性 CD4 陽性 T リンパ球減少症. 第 53 回日本血液学会中四国地方会. 2013 年 3 月、出雲.
- 6) 齋藤誠司, 鍵浦文子, 藤井健司, 藤田啓子, 畝井浩子, 木平健治, 藤井輝久, 高田昇, 大毛宏喜, 一戸辰夫: 急性 C 型肝炎の発症を捉え, 早期に治療導入に到った HIV 感染例, 第 87 回日本感染症学会学術講演会, 2013 年 6 月, 横浜
- 7) 齋藤誠司, 石原麻彩, 鍵浦文子, 喜花伸子, 藤井健司, 藤田啓子, 畝井浩子, 山崎尚也, 藤井輝久, 高田昇: 中国四国ブロックにおけるエイズ診療拠点病院医師向け研修会に対する評価とそのあり方について, 第 27 回日本エイズ学会学術集会, 2013 年 11 月, 熊本
- 8) 西島 健, 瀧永博之, 遠藤知之, 堀場昌英, 古賀道子, 内藤俊夫, 井戸田一郎, 鄭 真徳, 藤井輝久, 高田清式, 山本政弘, 宮川寿一, 田邊嘉也, 満屋裕明, 岡慎一: テノホビル/エムトリシタビン・ロピナビル/リトナビル内服例を現行レジメンとラルテグラビル・ダルナビル/リトナビルに無作為割付する多施設共同臨床試験, 第 27 回日本エイズ学会学術集会, 2013 年 11 月, 熊本
- 9) 重見 麗, 服部純子, 蜂谷敦子, 瀧永博之, 渡邊 大, 長島真美, 貞升健志, 近藤真規子, 南 留美, 吉田 繁, 森 治代, 内田和江, 椎野禎一郎, 加藤真吾, 千葉仁志, 伊藤俊広, 佐藤武幸, 上田敦久, 石ヶ坪良明, 古賀一郎, 太田康男, 山元泰之, 福武勝幸, 古賀道子, 岩本愛吉, 西澤雅子, 岡 慎一, 松田昌和, 林田庸総, 横幕能行, 上田幹夫, 大家正義, 田邊嘉也, 白阪琢磨, 小島洋子, 藤井輝久, 高田昇, 高田清式, 山本政弘, 松下修三, 藤田次郎, 健山正男, 杉浦 互: 新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向, 第 27 回日本エイズ学会学術集会, 2013 年 11 月, 熊本
- 10) 栗田絵美, 廣瀬祥子, 平岡朝子, 河野富士子, 小松真由美, 山岡愛子, 河野真由, 齋藤誠司, 大崎千津子, 藤井輝久. 脳死肝移植後レシピエントにドナー由来抗 A 抗体の産生を認めた一症例. 第 61 回日本輸血・細胞治療学会総会. 2013 年 5 月. 横浜
- 11) 平岡朝子, 栗田絵美, 廣瀬祥子, 河野富士子, 小松真由美, 山岡愛子, 河野真由, 齋藤誠司, 大崎千津子, 藤井輝久. 広島大学病院における不規則抗体の同定が困難な症例への対応. 第 61 回日本輸血・細胞治療学会総会. 2013 年 5 月. 横浜
- 12) 齋藤誠司, 藤井輝久, 高田昇, 一戸辰夫. 体外循環にて大動脈置換術を施行した血友病 A における周術期の凝固マーカーとその止血管理. 第 35 回日本血栓止血学会学術集会. 2013 年 5 月. 山形
- 13) 齋藤誠司, 鍵浦文子, 藤井健司, 藤田啓子, 畝井浩子, 木平健治, 藤井輝久, 高田昇, 大毛宏喜, 一戸辰夫. 急性 C 型肝炎の発症を捉え, 早期に治療導入に到った HIV 感染例. 第 87 回日本感染症学会総会・学術集会. 2013 年 6 月. 横浜
- 14) 河野真由, 平岡朝子, 山岡愛子, 野間慎尋, 栗田絵美, 矢内綾佳, 廣瀬祥子, 河野富士

子, 山崎尚也, 齋藤誠司, 藤井輝久. 母由来の自己抗体による溶血性貧血が疑われた新生児例. 第 58 回日本輸血・細胞治療学会中四国地方会. 2013 年 9 月. 徳島

- 15) 大崎千津子, 河野真由, 平岡朝子, 山岡愛子, 野間慎尋, 栗田絵美, 矢内綾佳, 廣瀬祥子, 河野富士子, 山崎尚也, 齋藤誠司, 藤井輝久. 1 歳時自己血貯血への輸血部の関わり. 第 58 回日本輸血・細胞治療学会中四国地方会. 2013 年 9 月. 徳島
- 16) 平岡朝子, 河野真由, 山岡愛子, 野間慎尋, 栗田絵美, 矢内綾佳, 廣瀬祥子, 山崎尚也, 齋藤誠司, 藤井輝久. 血小板輸血を行った血小板無力症患者における血小板抗体検査. 第 58 回日本輸血・細胞治療学会中四国地方会. 2013 年 9 月. 徳島
- 17) 廣瀬祥子, 河野富士子, 平岡朝子, 齋藤誠司, 藤井輝久, 横崎典哉. 血清中のサイトメガロウイルス (CMV) 及びエプスタイン・バーウイルス (EBV) の遺伝子定量の有用性. 第 59 回日本臨床検査医学会中国・四国支部総会. 2013 年 9 月. 徳島.
- 18) Seiji.Saito, Teruhisa.Fujii, Noboru.Takata, Tatsuo Ichinohe. An assessment of atherosclerosis using PWV/ABI in adult hemophilic patients. 第 75 回日本血液学会学術集会. 2013 年 10 月. 札幌

*他施設・他部門と共同の場合は、下線が輸血部職員。